

Confidential



福祉用具の研究開発の推進

～S B I R推進プログラムの実施について～

国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）
イノベーション推進部

担当：古賀 揚輔

はじめに



私が所属しているのは、

「国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構」

(**N**ew **E**nergy and Industrial Technology **D**evelopment **O**rganization)



略称：**NEDO（ネド）**と申します。

目次



1.NEDOについて

2. SBIRプログラムについて

3. 2023年度実施の公募概要の紹介

4. 2023年度公募結果の紹介

5.採択に向けた提案のポイント

6. 2024年度の応募検討に向けたお願い

7.スタートアップ企業を支援するサービスの紹介

1.NEDOについて

2. SBIRプログラムについて

3. 2023年度実施の公募概要の紹介

4. 2023年度公募結果の紹介

5.採択に向けた提案のポイント

6. 2024年度の応募検討に向けたお願い

7.スタートアップ企業を支援するサービスの紹介

1. NEDOについて

(1) NEDOとは：

- ①持続可能な社会の実現に必要な技術開発の推進を通じて、イノベーションを創出する、国立研究開発法人です。
- ②リスクが高い革新的な技術の開発や実証を行い、成果の社会実装を促進する「イノベーション・アクセラレーター」
として、社会課題の解決を目指します。

(2) NEDOの概要：

- ・設立：2003年10月1日（前身の特殊法人は1980年10月1日設立）
- ・事業内容：技術開発マネジメント関連業務
- ・職員数：1,464名（2023年4月1日現在）
- ・予算額：約1,528億円（2023年度当初予算）
※その他基金事業を実施
- ・主務大臣：経済産業大臣

1. NEDOについて

(3) NEDOが担う役割

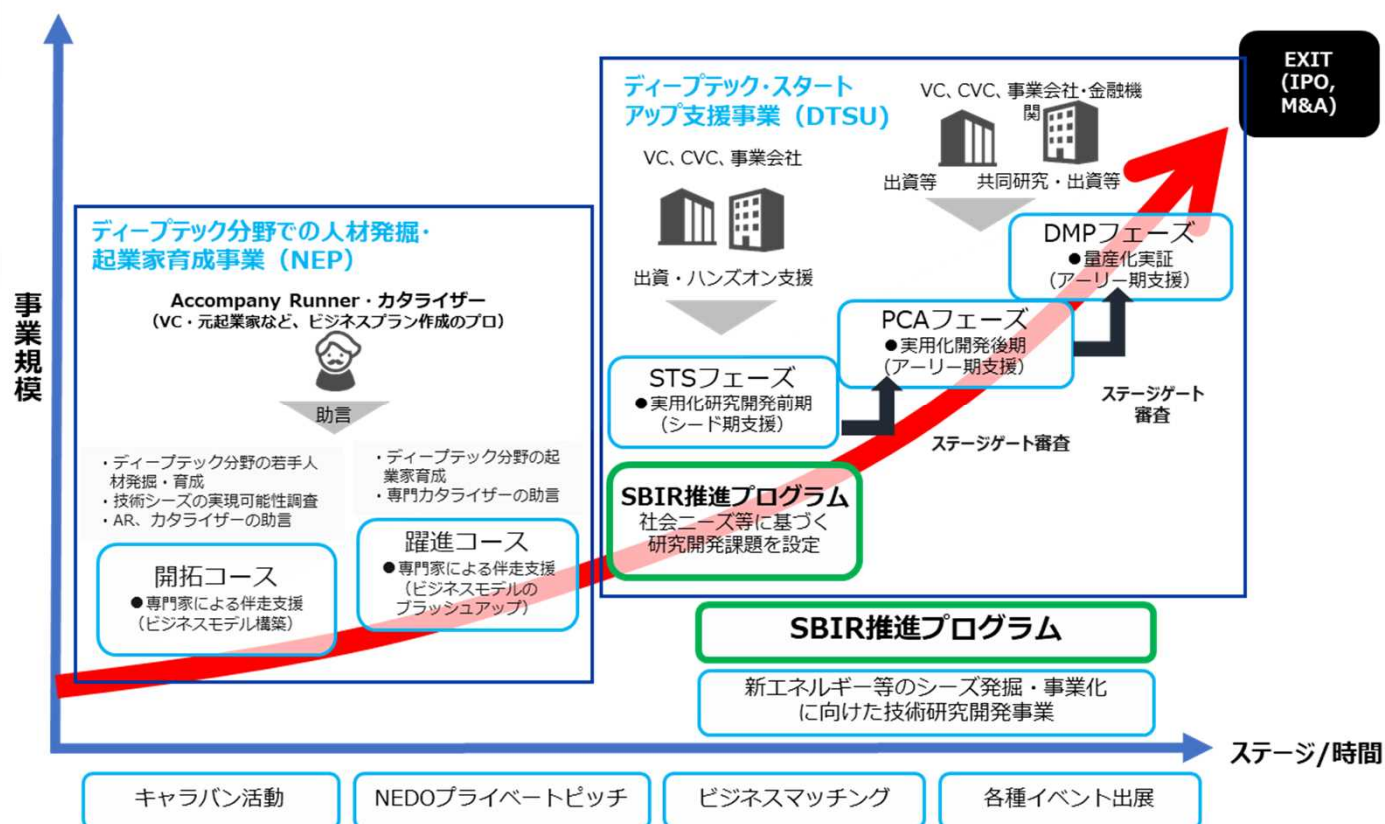
技術戦略の策定、プロジェクトの企画・立案を行い、プロジェクトマネジメントとして、産学官の強みを結集した体制構築や運営、評価、資金配分等を通じて技術開発を推進し、成果の社会実装を促進することで、社会課題の解決を目指します。



NEDOが、直接技術開発を行うのではなく、関係機関とのハブになって、技術開発の推進に寄与する役割を担っています。

1. NEDOについて

(4) NEDOイノベーション推進部が行っている支援



1.NEDOについて

2. SBIRプログラムについて

3. 2023年度実施の公募概要の紹介

4. 2023年度公募結果の紹介

5.採択に向けた提案のポイント

6. 2024年度の応募検討に向けたお願い

7.スタートアップ企業を支援するサービスの紹介

2. SBIRプログラムについて

- (1) SBIRとは : **S**mall **B**usiness **I**nnovation **R**esearchの略称です。
- (2) SBIR制度とは : スタートアップ等による研究開発を促進し、その成果を円滑に社会実装し、それによって我が国のイノベーション創出を促進するための制度です。
- (3) 日本版SBIR制度とは : ①多様化する社会課題の解決に貢献する研究開発型スタートアップ等を支援する制度です。
②内閣府を司令塔として省庁横断的に実施する制度です。
- (4) SBIR推進プログラムとは : 国の設定する課題（調達ニーズ、社会課題）の解決に資する技術を有する者を公募で募り、革新的な技術の概念実証や実現可能性調査を支援する
⇒**NEDOが実施**
（フェーズ1）とともに、フェーズ1で得られた成果等を前提として当該者が事業化に向けて取り組む研究開発を支援する（フェーズ2）ものです。

1.NEDOについて

2. SBIRプログラムについて

3. 2023年度実施の公募概要の紹介

4. 2023年度公募結果の紹介

5.採択に向けた提案のポイント

6. 2024年度の応募検討に向けたお願い

7.スタートアップ企業を支援するサービスの紹介

3.2023年度実施の公募概要の紹介

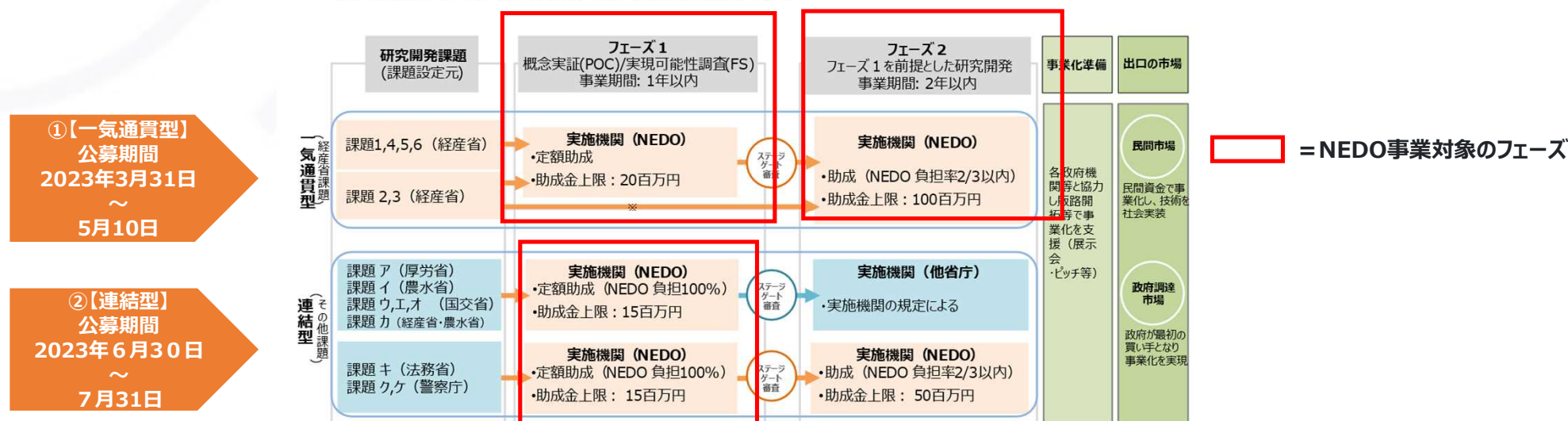
(1) NEDOで実施のSBIRプログラムの概要（2023年度実施分）

2023年度は、「一気通貫型」タイプと「連結型」タイプの2回の公募を実施しました。

* 2023年度の応募受付は既に終了していますので、次年度検討に向けた参考用としての案内となります。

* 2024年度の実施有無、実施概要は現段階では未定です。

SBIR推進プログラムにおける多段階支援の概要



① **一気通貫型**とは：フェーズ1・2ともにNEDOが実施機関となり、研究開発支援を行う。

② **連結型**とは：フェーズ1をNEDOが開発支援し、フェーズ2以降を他省庁に事業連結する。

3.2023年度実施の公募概要の紹介

(2) 2023年度の公募課題の紹介

① 一気通貫型の公募課題（福祉関連課題を抜粋）

課題名：**高齢者の自立支援や介護者の負担軽減等に資する福祉機器の開発**

課題設定元：**経済産業省**

助成金額：フェーズ1＝上限2,000万円（定額助成） フェーズ2＝上限1億円（2/3助成）

政策課題： ■福祉用具は使用用途や身体障がい度が異なる障がい者が利用することから、ニーズに則した福祉用具が十分に市場に存在しているとはいえない状況にある。
■高齢者や障がい者にとって福祉用具の充実が自立支援やQOLに大きく関わるものであり、また適切な福祉用具を利用することにより、介護者の負担を軽減し持続可能な社会を構築することにもつながる。
■このためニーズに則した福祉用具の開発が大きな社会課題となっており、公的資金により行う必要性の高いものと考えられる。

研究開発課題：

- 高齢者、障害者の自立支援や介護者の負担軽減に資する福祉機器の開発に資するものを対象とし、以下の技術シーズを想定。
- 介護人材不足を解決するため介護者の負担軽減、生産性向上に資する福祉用具ニーズに応える機器等の研究開発。**
- 社会参画や情報アクセス等、高齢者や障害者の自立を促進する福祉用具ニーズに応える機器等の研究開発。**
- 在宅介護における福祉用具のニーズや課題に応える機器等の研究開発 特にコロナの影響で高齢者の外出自粛による在宅介護ニーズの高まりや非接触介護推進の必要性等新たな課題とそれらを解決する機器等の福祉用具のニーズに応える機器等の研究開発。**

3.2023年度実施の公募概要の紹介

(2) 2023年度の公募課題の紹介（福祉関連）

②連結型の公募課題（福祉関連課題を抜粋）

課題名：多様化する障害像を踏まえた汎用性のある自立支援機器の開発

課題設定元：厚生労働省

助成金額：フェーズ1＝上限1,500万円（定額助成）

政策課題： ■ 障害者の自立を支援する機器の開発では、多岐に渡る障害像や個別性の高さにより、障害者の真のニーズをとらえてシーズに起こして製品化することは非常に難しく、製品化までに多くの開発過程と時間を要する。また、市場規模が小さいため製品化後に事業として成り立たず、障害者は必要とする機器を入手できない、若しくは継続して使用できない状況にある。

■ 近年、技術の進歩により汎用品のアクセシビリティ等が進んでいるが、汎用性に乏しいニーズに合致した製品の開発に企業の積極的な参画は見込めず、障害者は先端技術の恩恵を受けにくい実情もある。こうした現下の課題を解決するため、支援機器の開発を継続的に促進する必要がある。

研究開発課題： 障害者の真のニーズを捉えながらも汎用性を見据えた製品開発及び、製品の継続的な提供を視野に入れた支援機器の研究開発を対象とする。以下に具体例を示す。

- **障害児・者の知的及び認知機能を補助し、自立生活を支援する機器。**
 - **障害児・者の日常生活関連活動（家事、買い物、外出時の移動・経路案内、金銭管理等）を支援する機器。**
 - **障害児・者の余暇活動（遊び、趣味、スポーツ等）を支援する機器。**
 - **障害者の心身の健康維持・向上に資する機器（自ら管理しつつ支援者にも必要な情報を共有できる機器等）。**
- * 技術はあるが、既存の製品として広く流通していないものが望ましい。機器にはシステム、アプリケーションの開発を含む。
- * 医療機器は対象外とする。医療機器に該当するか判断できない場合は、事前に都道府県薬務課へ問い合わせること。

1.NEDOについて

2. SBIRプログラムについて

3. 2023年度実施の公募概要の紹介

4. 2023年度公募結果の紹介

5.採択に向けた提案のポイント

6. 2024年度の応募検討に向けたお願い

7.スタートアップ企業を支援するサービスの紹介

4.2023年度公募結果の紹介

(1) 一気通貫型公募について（2023年3月31日～5月10日に公募）

2023年度に実施の一気通貫型の公募において、福祉関連課題への応募は、**12件**あり、厳正な審査の結果、**6件**が、採択となり、助成金の交付を行いました。

【一気通貫型公募の実施予定先一覧（福祉関連課題分）】

	採択事業者名	提案名
1	株式会社 Ashirase	あしらせに搭載した足元のセンサデータを活用した歩行測位高精度化研究開発事業
2	株式会社 ORPHE	スマートシューズを起点とした転倒予防・健康寿命延伸サービスの研究開発
3	BionicM 株式会社	高齢者等低活動者の活動及び安全向上に資する立ち上がり・歩行アシスト膝継手
4	Qolo 株式会社	下肢障害者の起立と移動を支援する装置の開発
5	AssistMotion 株式会社	機械学習を用いた動作識別に基づく移乗介 助用小型軽量腰アシストスーツの開発
6	ダブル技研株式会社	脳卒中片麻痺者の車いす自走と移乗準備を ナビゲーションする車椅子アドオンキット開発

※一気通貫型公募の実施予定先一覧掲載： <https://www.nedo.go.jp/content/100963990.pdf>

4.2023年度公募結果の紹介

(2) 連結型公募について（2023年6月30日～7月31日に公募）

2023年度に実施の**連結型**公募においては、**福祉関連課題**へ**2件**の応募がありました。

【連結公募の応募状況（福祉関連課題）】

	ニーズ元	研究開発課題	提案数
ア	厚労省	多様化する障害像を踏まえた汎用性のある自立支援機器の開発	2

1.NEDOについて

2. SBIRプログラムについて

3. 2023年度実施の公募概要の紹介

4. 2023年度公募結果の紹介

5.採択に向けた提案のポイント

6. 2024年度の応募検討に向けたお願い

7.スタートアップ企業を支援するサービスの紹介

5.採択に向けた提案のポイント

- (1) 公募要領に記載の 政策課題、研究・開発課題に寄り添った提案内容であること
- (2) 提案内容に独創性・新規性があること
- (3) 目標が明確であり、目標達成に向けた計画が、具体的かつ明確であること
- (4) 実施体制が明確であり、整っていること
- (5) 実施に際しての費用項目が、具体的かつ妥当性が提案内容から見受けられること
- (6) 採択後、事業終了まで完走可能な経営基盤（資金等）を有していること
- (7) 提案頂く内容が、簡潔かつ読み手が初見でも分かりやすい内容になっていること

1.NEDOについて

2. SBIRプログラムについて

3. 2023年度実施の公募概要の紹介

4. 2023年度公募結果の紹介

5.採択に向けた提案のポイント

6. 2024年度の応募検討に向けたお願い

7.スタートアップ企業を支援するサービスの紹介

6.2024年度の応募検討に向けたお願い

2024年度公募については、現在準備中です。

公募に関する情報は、随時NEDOのホームページに掲載いたしますので、

適宜、NEDOのホームページより、ご確認をお願いします。

(<https://www.nedo.go.jp/>)



6.2024年度の応募検討に向けたお願い

【最後に】

NEDOでは最新情報を①X（旧Twitter）②Youtube ③Facebookで発信しています。最新情報を逃さないために、ご登録をお願いします。



1.NEDOについて

2. SBIRプログラムについて

3. 2023年度実施の公募概要の紹介

4. 2023年度公募結果の紹介

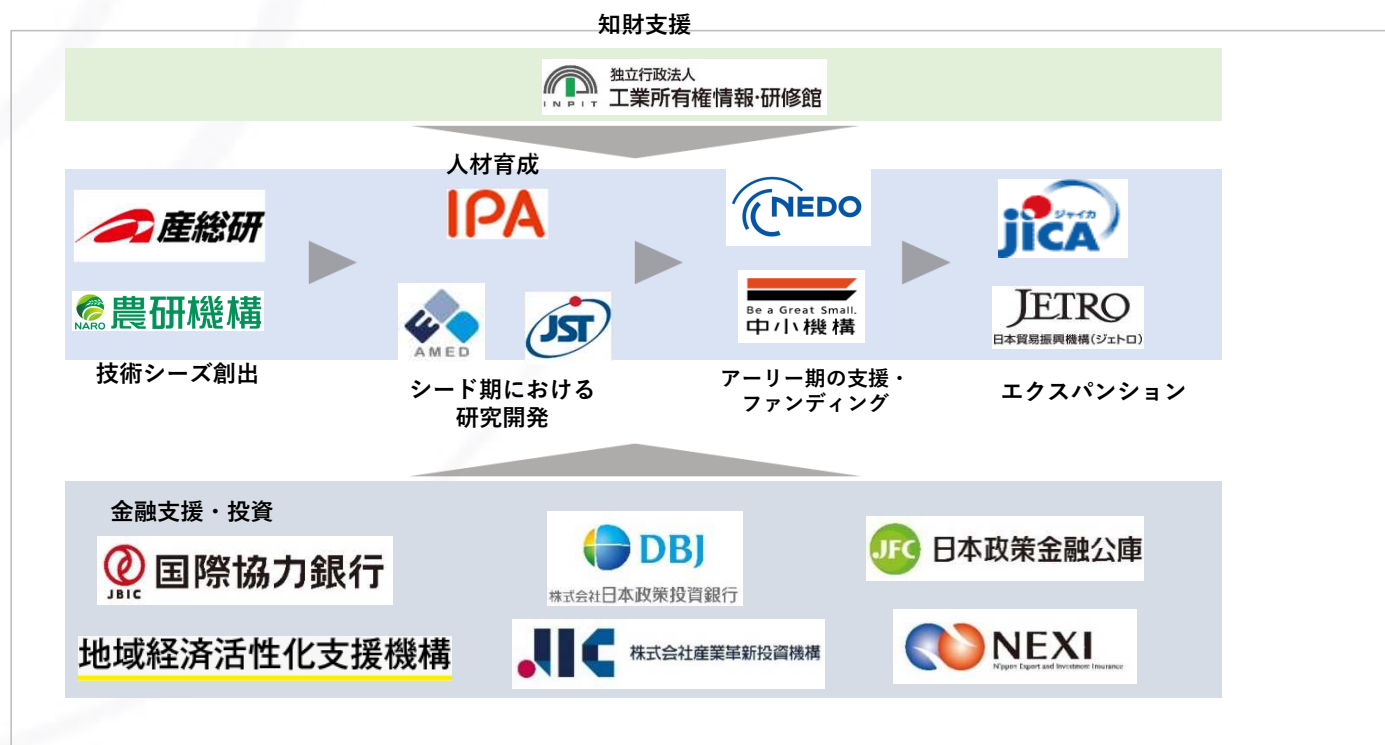
5.採択に向けた提案のポイント

6. 2024年度の応募検討に向けたお願い

7.スタートアップ企業を支援するサービスの紹介

7. スタートアップ企業を支援するサービスの紹介

- (1) Plusについて (“Platform for unified support for startups”) スタートアップ支援を行う**16機関**が連携し、スタートアップ支援機関プラットフォーム (“Platform for unified support for startups”) である、Plus(通称：プラス) が、**2020年7月に創設されました。**



7. スタートアップ企業を支援するサービスの紹介

(2) 相談先：相談を希望の場合は、政府系スタートアップ支援機関の連携によるワンストップ窓口 **“Plus One”** へお願いします。



Plus One
問い合わせ
フォーム※に
入力

Plus運営事務局

- ◆ メール・電話・オンライン面談等で相談
- ◆ 最適な事業等を検討し紹介

- ✓ Plusでの16機関間連携を活用し、一元的な相談体制を構築
- ✓ スタートアップに、支援機関から“プラスワン”な情報提供

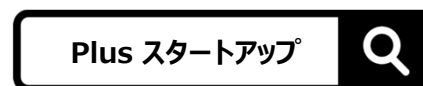
Plus (Platform for unified support for startups) 参加16機関

シード期 技術シーズ創出・研究開発・人材育成支援	アーリー期 支援・ファンディング	エクспанション期 海外展開支援
金融支援・投資		知財支援

- ・Plus参加16機関の支援メニューから最適なものをご紹介
- ・民間企業も含めた他機関とも必要に応じて連携・紹介

Plus Oneへのお問い合わせはこちら

※NEDOのスタートアップ向けHP StarT!ps from NEDO内にお問合せフォームがあります



<https://app23.infoc.nedo.go.jp/qa/enquetes/bg4bpyn8qh71>

ご視聴ありがとうございました。



お問い合わせ先

NEDOイノベーション推進部
プラットフォームグループ
sbir-r3@nedo.go.jp